

学校経営推進費評価報告書（2年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立茨田高等学校 全日制の課程
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中退者0をめざす ・ 授業アンケート「授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている」の項目について4段階の数値を3.5まで向上させる。
計画名	「みんなで卒業プロジェクト」

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 学力の向上（学ぼうとする力の育成）</p> <p>(1) 本校生徒にとって『授業のユニバーサルデザイン化』『楽しい授業』『規律ある授業』が行えるように、教員の授業力を向上させる。</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ ICTを活用し、授業改善と業務軽減を行う。すべての教員がプロジェクターを活用できるようにする。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 授業アンケート「授業内容に興味関心を持つことができた」の項目で3.5ポイントに向上させる。</p> <p>(2) 生徒の学習習慣を確立させることを通して、学習意欲を向上させる。</p> <p style="padding-left: 2em;">エ ICTを活用し年度末の成績不振による留年者を50%に減少させる。</p> <p>(3) 生徒一人ひとりの進路目標にあった学力（それぞれの学力）を育成する。</p> <p style="padding-left: 2em;">エ ※ 生徒の基礎学力を向上させることで、1年生・2年生の進級率を上げ、平成31年度には1年生85%、2年生95%にする。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ UD教材の研究、プロジェクターを活用した茨田検定解説教材の作成。</p>
事業目標	<p>「ICTを使った授業改善」を進め生徒のやる気を引き出し、平成28年度45名いる中退者を3年後に0にする。また、年度末の成績不振による留年者を0にする。（平成28年度は22名）具体的には「授業のユニバーサルデザイン化」や、「茨田検定」でICTを取り入れ、基礎学力の向上をめざす。また、本校で増加傾向にある外国籍の生徒も含めたすべての生徒がわかりやすいICTを使っのユニバーサルデザインの授業の充実を図る。</p> <p style="padding-left: 2em;">授業アンケート「授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている」の数値を3.5ptまで向上させる。（平成28年度3.26pt）</p>
整備した 設備・物品	液晶プロジェクター18台（普通教室）、掛け金具18台、設置工事費、無線画像転送装置3台、HDMIケーブル（3m）、その他コード類
取組みの 主担・実施者	主担：「みんなで卒業プロジェクトチーム」 取組みの実施者：全教員の8割以上を予定
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後学習の茨田検定の解答・解説画像を作成し、プロジェクターを使用して解答・解説を行う。 ・ 授業力向上ユニット研修において、研究授業の観点項目に「ICTの活用」をおき、効果的な活用などを討議。

	<ul style="list-style-type: none"> 授業における活用方法（ソフトウェア、接続方法など）についての研修および情報共有資料を作成。
成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ①授業や茨田検定でのプロジェクターの活用率 ②授業アンケート「授業内容に興味・関心を持つことができた」の数値 ③中退者数および中退率（前年度比 50%減） ④成績不振による留年数（前年度比 50%減）
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 授業での活用率は 98%で、授業活用頻度では、授業実施の半分以上でプロジェクターを使用している教員が半数ほどであった。茨田検定の実施（100%）においては、わかりやすさが向上した。……………（○） 常設のプロジェクターにより、教員の業務軽減にもなり、勤務時間短縮につながった。 授業アンケート「授業内容に興味関心を持つことができた」の数値は、3.34pt であった。（H28 年度 3.26pt→H29 年度 3.29pt→H30 年度 3.34pt）……………（目標 3.5pt）（△） 中退者数は、前年度比 28%減であった。（H28 年度 45 名→H29 年度 70 名→H30 年度 58 名）中退率は、前年度比 26%減であった。（H29 年度 13.9%→H30 年度 10.3%）……………（△） 成績不振による留年数は、前年度比 50%減であった。（H28 年度 22 名→H29 年度 24 名→H30 年度 12 名）……………（○）
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 授業におけるプロジェクター活用法について、使用ソフトウェア、活用法提案、接続機器についての情報、接続方法についての情報などを集約して情報共有をさらに進め、ICT 活用の質の向上を図る。 授業アンケート「授業内容に興味関心を持つことができた」の数値 3.5pt を達成する。加えて、学校教育自己診断（生徒対象）「授業はわかりやすく楽しい」の肯定的数値を上昇させる。（H30 年度 65%） 中退者率 8%以下を達成する。